

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99735403 310 G

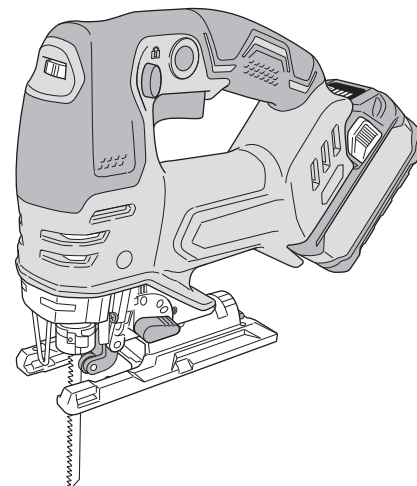
HiKOKI

取扱説明書

コードレスジグソー

36 V CJ 36DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



用途

- 各種木材の切断、および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなど各種合成樹脂の
切断
- 各種化粧板、薄物軟質新建材の切断
- ステンレス板の切断

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	8
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	10

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	12
1 充電当たりの作業量について	12
スイッチロックについて	13
スイッチについて	13
LED ライトの使い方	14
LED ライトの警告シグナルについて	14
ブレードのスピード調整	15
オービタル機構について	16
ブレードの取付け・取りはずし	17
刃口板の取付け	18
六角棒スパナの収納について	18
チップカバーの取付け	19
サブベース (別売部品) の取付け	19
ダストコレクタ (別売部品) の取付け	20
基本の切断	21
金属の切断	23
いろいろな切断	25
ガイド (別売部品) を使う	27

その他

保守・点検	29
故障診断	30
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用する
ことはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の
性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理
または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be
sold or used in any other country. Otherwise, product may not
perform as intended. No authorized service or warranty is
available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で 사용하지 しないでください。**
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けられません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスジグソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあります。
 - 誤って電線を切断してしまった場合の感電防止のため、使用中は機体の金属部に触れないでください。
- ② 次の場合は、スイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込みロックして蓄電池を工具本体からはずしてください。
 - 作業を中断、および終了したとき
 - ブレードを取付け・取りはずすとき
 - 付属品や別売部品を取付け・取りはずすとき
 - ベースの位置を調整するとき
 - 保守・点検・保管するとき
- ③ 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ④ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やブレード類などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

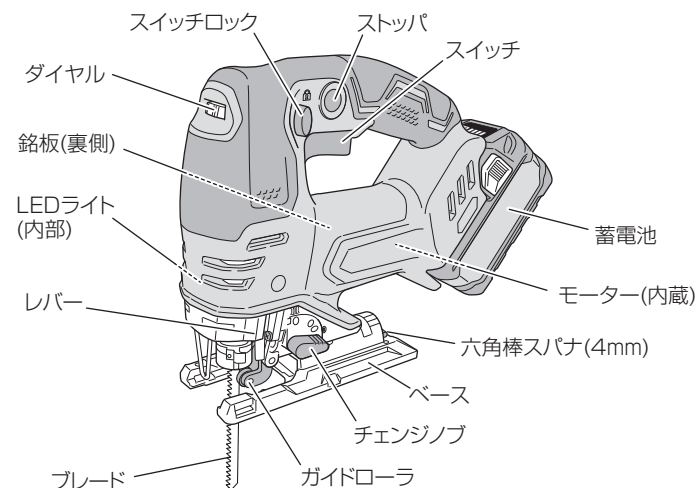
再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称



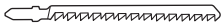
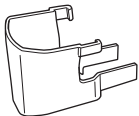
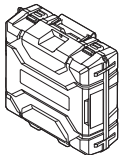
仕 様

形 名	CJ 36DA
切 断 能 力	木 材： 厚さ 135 mm 軟 鋼 板： 厚さ 10 mm ステンレス： 厚さ 3.2 mm
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター
無負荷ストローク数 (気温20℃満充電時)	通常モード(ダイヤル 1～5)：800～3,500 min ⁻¹ { 回 / 分 } オートモード(ダイヤル A)：1,400 min ⁻¹ { 回 / 分 }
ス ト ロ ーク 量	26 mm
最 小 切 断 半 径	25 mm
寸 法 全長×高さ×全幅	280×206×81 mm [BSL 36A18X 装着時]
質 量	2.7 kg [BSL 36A18X 装着時]
電 池 電 圧	36 V
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池
LED ラ イ ト	白色 LED
振動3軸合成値 ^{*1}	木材 8.4 m/s ² ^{*2} 軟鋼板 4.5 m/s ² ^{*2}

※1：振動 3 軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値）については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト：<https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。

※2：振動 3 軸合成値は、EN62841-2-11 規格に基づき測定しています。

標準付属品

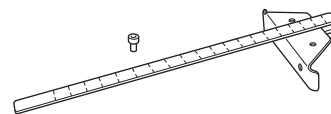
品 名	仕 様	XPZ	NN
ブレード (No. 41)		1 枚	1 枚
六角棒スパナ (4 mm)		1 本 (ベース収納部に装着)	1 本 (ベース収納部に装着)
刃口板		1 個	1 個
チップカバー		1 個	1 個
ケース		1 個	—
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱 説明書を確認してください。		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱 説明書を確認してください。		1 台	—
電池カバー		1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品を使用することで、いろいろな作業に利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

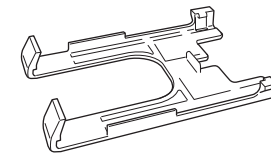
ガイド

直線や円弧を切る場合に利用してください。
(P.27「ガイドを使う」参照)



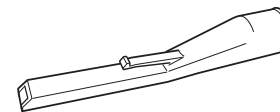
サブベース

円や円弧など曲線切りของときに使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。
(P.19「サブベースの取付け」参照)



ダストコレクタ

木材などの切断時に発生する切粉を、電動工具用集じん機 (別売) を使用して集じんする場合に用います。
(P.20「ダストコレクタの取付け」参照)



各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。最新の情報は弊社ホームページ、あるいは総合カタログをご覧ください。

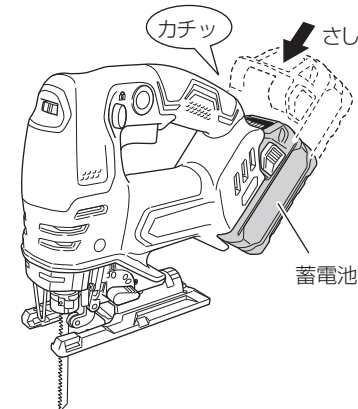
ブレード適正一覧表 (下記表中の数字は切断可能な厚さ (mm) を示します。)

主要 切断材料	ブレード No.	山数 / 1 インチ	全長 mm	切断能力 mm				
				木材合板	塩ビ プラスチック アクリル	軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属
木材	※ No.1	9 山	88	20 ～ 45	—	—	—	—
	※ No.2	12 山	83	20 以下	3 ～ 20	—	—	—
	No.1 (ロング)	6 山	160	105 以下	—	—	—	—
	No.1 (スーパーロング)		185	135 以下	—	—	—	—
	No.11	8 山	105	5 ～ 55	5 ～ 20	—	—	—
	※ No.31	9 山		20 ～ 55	—	—	—	—
	No.12	20 山	77	20 以下	10 以下	—	—	—
	No.42	13 山		2 ～ 15	—	—	—	—
	合板用	25 山		ベニヤ 2 ～ 20	—	—	—	—
	曲線切り	14 山	105	20 以下	—	—	—	—
	No.21 (仕上用)	6 山		5 ～ 55	5 ～ 20	—	—	—
	No.22 (仕上用)	10 山		3 ～ 40	3 ～ 15	—	—	—
	No.41 (仕上用)	8 山	116	10 ～ 65	—	—	—	—
	No.1 (仕上用)	12 山	83	2 ～ 40	3 以下	—	—	—
合成樹脂	No.4	13 山	83	—	3 ～ 20	—	—	—
FRP	グリッド	—	83	FRP 板厚 10 mm				
鉄材	No.123X	10 ～ 21 山	100	—	—	1.5 ～ 10	—	—
	No.15	8 山	77	—	5 ～ 15	3 ～ 6	—	3 ～ 10
	No.16	25 山		—	5 以下	3 以下	—	3 以下
	No.5A (押切刃)			—	—	1.7 ～ 3.0	—	2 ～ 4
	No.6A (押切刃)	32 山		—	—	1.6 以下	—	2 以下
	曲線切り	25 山		—	—	2 以下	—	—
ステンレス	No.50	13 山	92	—	5 ～ 15	2.5 ～ 6.0	2.0 ～ 3.2	3 ～ 13
	No.51	21 山		—	5 ～ 20	1.5 ～ 5.0	1.5 ～ 2.5	5 以下
	No.52	32 山		—	5 以下	3.0 以下	0.5 ～ 1.5	3 以下
	No.97	21 山	77	—	5 ～ 15	2 ～ 5	1.5 ～ 2.5	5 以下
	No.95	18 山	83	—	5 ～ 20	3 ～ 6	1.5 ～ 3.2	3 ～ 12
	No.96	32 山		—	5 以下	3 以下	0.5 ～ 1.5	3 以下

蓄電池の取付け・取りはずし

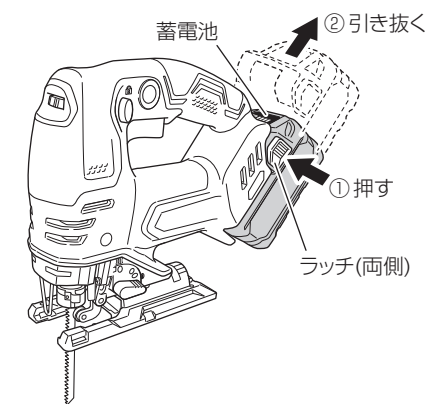
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



1 充電当たりの作業量について

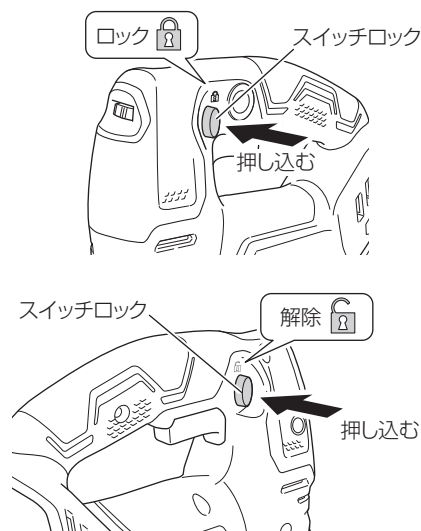
切断量は、材料の状態、ブレードの種類、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。
(蓄電池 BSL 36A18X 使用時)

材料	サイズ (長さ × 厚さ)	使用ブレード	オービタルポジション	作業量
MDF	300 mm × 24 mm	No. 41	Ⅲ	150 カット

スイッチロックについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないように、スイッチロックが付いています。

スイッチロックは、しっかりと押し込んでください。



スイッチについて

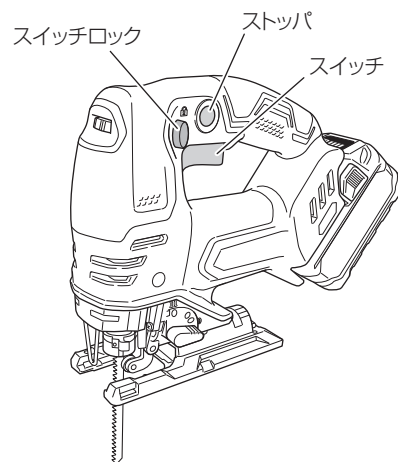
スイッチロックを「解除」側にした状態で、スイッチを引くと入り、はなすと切れます。

スイッチの引き込み量で無段階にストローク数が変わります。
スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

スイッチを引いてからストッパを押すと、
スイッチをはなしても固定され連続運転
になります。

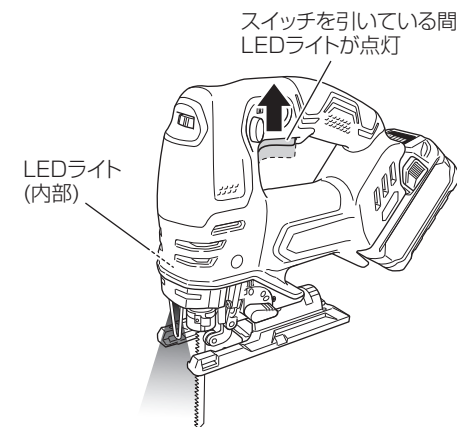
停止させるときは、もう一度スイッチを引いてからはなしますと連続運転が解除されます。



LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、自動的にLED
ライトが工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなして、約 10 秒後に LED ライトは自動消灯します。

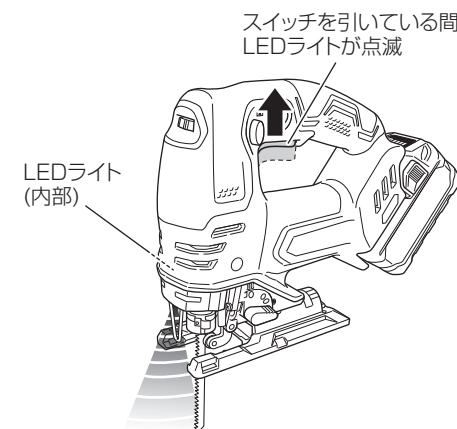


LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いています。

作業中に各保護機能が作動すると、スイッチを引いている間とスイッチをはなしてから約10秒間、LEDライトが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



保護機能	LED ライトの表示	対処方法
過負荷保護	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (速い点滅)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	工具本体および蓄電池を十分に冷ましてください。

ブレードのスピード調整

本機はブレードのスピードを無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったスピードで使用してください。

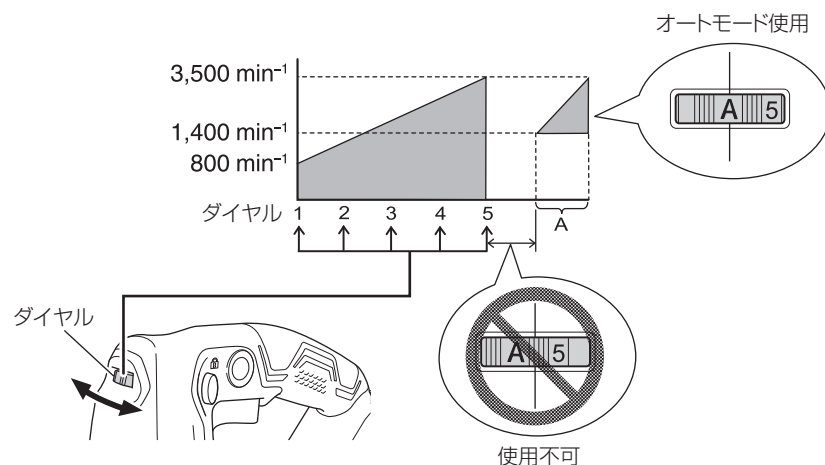
ダイヤルの目盛り"1"が最低速 (800 min^{-1} { 回 / 分 }) で、目盛り"5"が最高速 ($3,500 \text{ min}^{-1}$ { 回 / 分 }) の範囲で無段階に設定できます。

"A" は、作業の負荷に応じて、スピードを $1,400 \text{ min}^{-1}$ から $3,500 \text{ min}^{-1}$ に自動で切り替え、スピードはスイッチが切られるまで維持されます。

作業前・作業間の無負荷時に振動・騒音を下げる効果があります。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったブレードのスピードで使用してください。

一般に軟質材では高速、硬質材では低速が適しています。



ダイヤル	ストローク数
1 ~ 5	$800 \sim 3,500 \text{ min}^{-1}$ { 回 / 分 }
A	$1,400 \text{ min}^{-1}$ { 回 / 分 } (負荷がかかる前) $3,500 \text{ min}^{-1}$ { 回 / 分 } (負荷がかかった後)

注 •低速 (目盛り 1 ~ 2) では、木材で 10 mm、金属板で 1 mm を超える厚さの材料は切断しないでください。

•"A" で使用の際は、ダイヤルを上図の A の位置まで回してください。

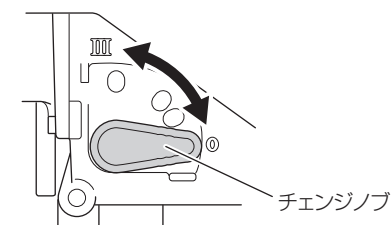
•"A" で使用する際に、作業条件やブレードの種類によって、ストロークが $3,500 \text{ min}^{-1}$ に上がらない場合があります。

オービタル機構について

本機はブレードが上下運動と同時に前後にも運動するオービタル運動機構を備えています。

オービタルポジションはチェンジノブで切り替わります。

用途に応じたオービタルポジションを選択してください。



● オービタル運動機構

ブレードが上下プラス前後運動するため、特に木材などの軟質材において、切断材への食い込み、および切粉の排出が良くなり、切断作業が効率良く行えます。

		オービタルポジション		
		Ⅲ	←→	0
ブレードの運動軌道	ストローク量 26mm			
		単なる上下運動		

● オービタルポジションの選択 (目安)

最適なポジションは切断する材料のかたさ、厚さ、切断面の仕上がり程度、およびその他の要因によって左右されるため、あくまでも目安として利用してください。

オービタル機構使用時は材料がバタつきやすいため、材料をしっかり固定してください。

要 因	オービタルポジション Ⅲ ←→ 0	
材 料 の か た さ	軟質材	←→ 硬質材
材 料 の 厚 さ	厚い	←→ 薄い
切 断 速 度	速く切る	←→ ゆっくり切る
直線切りか曲線切りか	直線に切る	←→ 曲線に切る
仕 上 り 程 度	悪くても良い (ケバ立ち、縁欠け などがあっても良い)	←→ きれいに仕上げたい

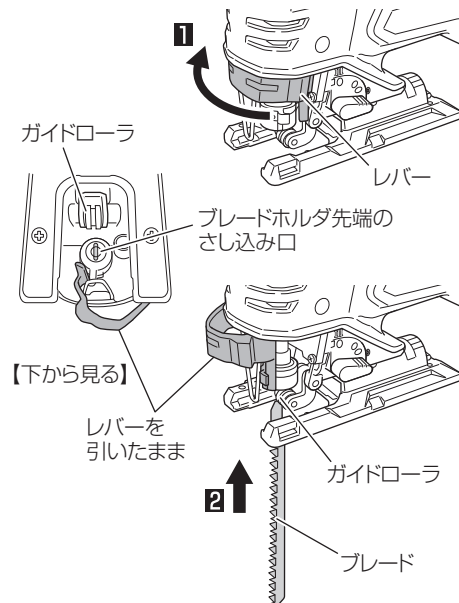
ブレードの取付け・取りはずし

⚠注意

- ブレードは、切粉をよくふき取り、確実に取付けてください。
- ブレードの刃に触れないでください。

取付け方

- 1 レバーを矢印の方向に引きます。
- 2 レバーを引いたまま、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から突き当たるまでさし込みます。
- 3 レバーを元に戻すとブレードが固定されます。
ブレードがガイドローラの溝に入っていること、またブレードが抜けないことを確認してください。



⚠注意

使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。

取りはずし方

- 4 取付けたときと同様にレバーを矢印 1 の方向に引きながら、ブレードを引き抜きます。

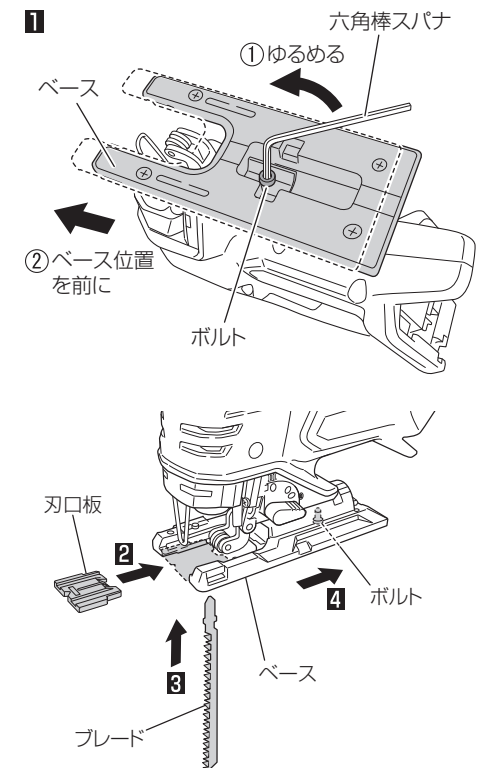


- 注**
- ガイドローラ部に、時々潤滑油をさしてください。
 - ブレードを交換するときに、さし込み口にたまった切粉を掃除してください。

刃口板の取付け

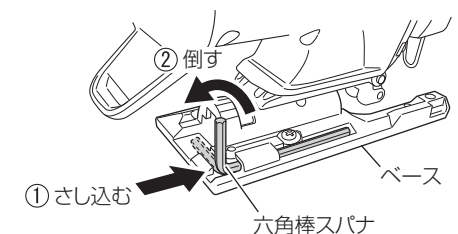
木材の直線切りで、切断面角部のけば立ちを小さくするときに刃口板を使用します。

- 1 ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動させます。
 - 2 刃口板をベース前面から、奥までさし込みます。
 - 3 ブレードを装着します。
(P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照)
 - 4 ベースを最後方位置まで戻し、ベース下部のボルトを締付けてベースを固定します。
- 注** 刃口板は直角での(ベース傾斜 0°)直線切り以外の切断には使用できません。



六角棒スパナの収納について

ベースに六角棒スパナを収納することができます。
右図のように収納してください。



チップカバーの取付け

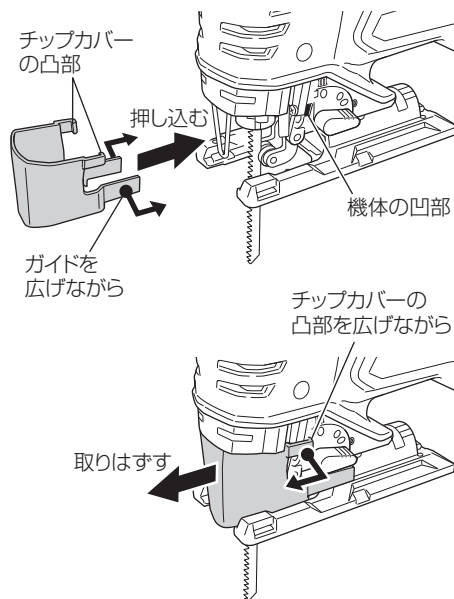
- 1 機体を直角（傾斜 0°）にする。
（P.25「傾斜切断」参照）

注 ベースを傾斜させた状態でチップカバーを取付けることはできません。

- 2 チップカバーのガイドを手で広げながら、機体側に押し込みます。

- 3 チップカバーの凸部が機体の凹部に入っていることを確認してください。

- 4 はずすときは、チップカバーの凸部を広げ、機体の凹部からはずして引き抜きます。



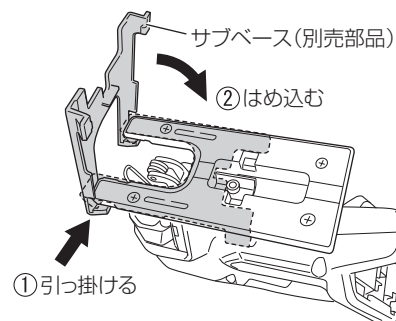
サブベース（別売部品）の取付け

円や円弧など、曲線切りのときに使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

ベースの先端にサブベースを引っ掛けてからはめ込みます。

はずすときは引き上げてください。

- 注** サブベースを取付けると、切断材からブレードが突き出す長さが 3 mm 減少します。ブレードが最も下に移動したときに、材料からブレードが出ることを確認してください。



ダストコレクタ（別売部品）の取付け

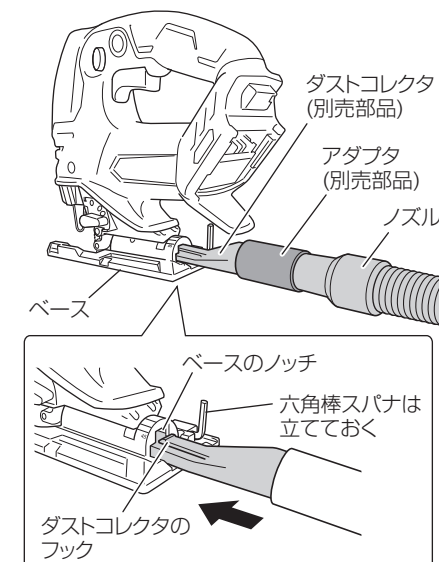
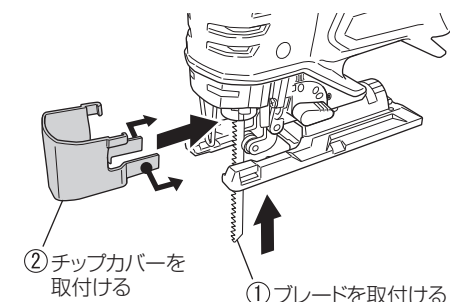
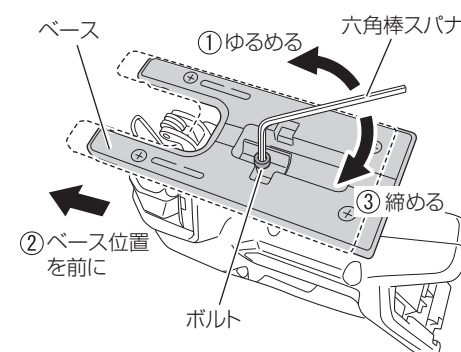
木材などの切断時に発生する切粉を、電動工具用集じん機（別売）を使用して集める場合に用います。

- 1 ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動してから固定します。

- 2 ブレードとチップカバーを取付けます。
（P.19「チップカバーの取付け」参照）

- 3 ダストコレクタのフックがベースのノッチに確実に収まるまで、ベースにさし込みます。

- 注** ノズルの内径が $\phi 25$ 以下の集じん機を使用する場合は、別途アダプタ（別売部品）を右図のように接続します。



基本の切断

警告

切断中は切粉が飛散するので、保護メガネを使用してください。

材料に、ケガキ線を引き、線に沿って切断します。

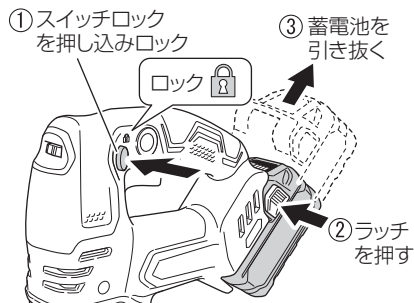
材料を内側から切断するときは、あらかじめドリルなどでブレードが入る穴をあけておきます。

注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。反動で機体が浮き上がる場合があります。けがの原因になります。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。機体の破損および、けがの原因になります。

1 蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、スイッチロックをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。（P.13「スイッチロックについて」参照）

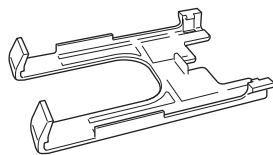


2 ケガキ線を引く

材料を切断する場所にケガキ線を引きます。

3 サブベース（別売部品）を取付ける 〈曲線切りの場合〉

曲線切りをするときは、別売部品のサブベースを使用すると作業しやすくなります。（P.19「サブベースの取付け」参照）



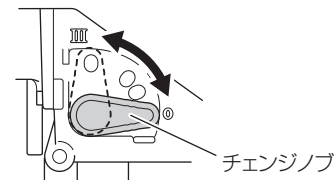
4 ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレードを使用してください。（P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照）



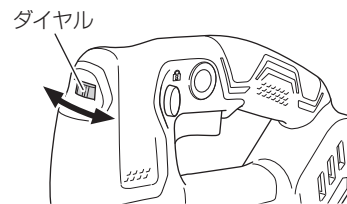
5 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを回して、用途に応じたオービタルポジションに設定します。（P.16「オービタル機構について」参照）



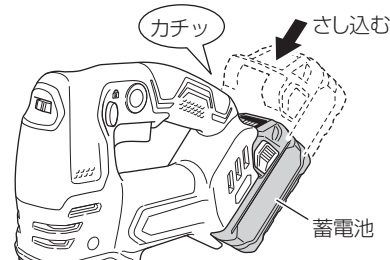
6 スピードを調整する

ダイヤルを回して、用途に応じてスピードを調整します。（P.15「ブレードのスピード調整」参照）



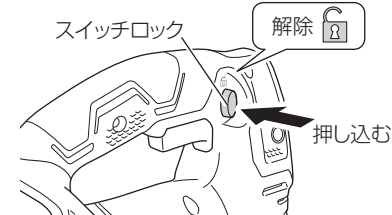
7 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



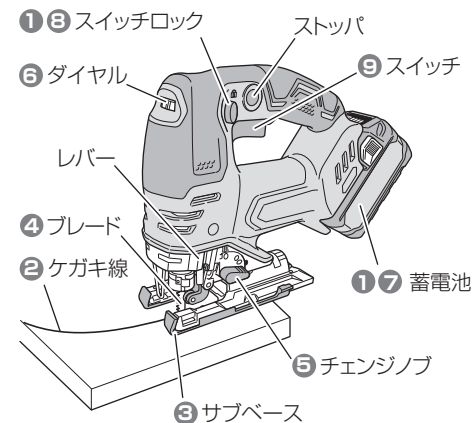
8 スwitchロックを解除する

スイッチロックを解除側（左側）に押し込み、スイッチロックを解除します。（P.13「スイッチロックについて」参照）



9 スイッチを入れる

ベースを材料に密着させ、ブレードが材料に触れない位置でスイッチを入れます。ケガキ線に沿って、ゆっくりと切断してください。



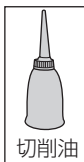
注 切断中は、ベースを材料に密着させてください。ベースと材料がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。

金属の切断

⚠ 警告

切断中は切粉が飛散するので、保護メガネを使用してください。

- 注** ●金属切断時は切削油（スピンドル油、石けん水など）を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。
- 液状の切削油を使用しない場合は、グリースを加工材の裏面に塗ってください。



⚠ 注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。反動で機体が浮き上がる場合があります。けがの原因になります。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。機体の破損および、けがの原因になります。

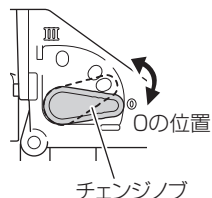
● 軟鋼板の切断

1 ブレードの選定

- 金属の切断には、別売部品の金工用ブレードを使用します。（P.11「別売部品」参照）
- P.17「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。

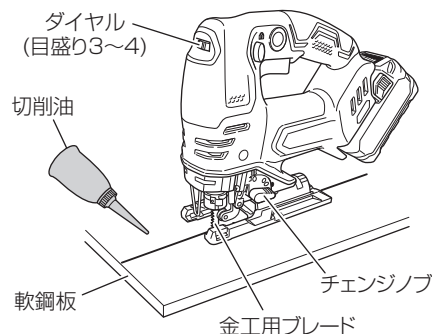
2 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを"0"または右図の位置に合わせます。（P.16「オービタル機構について」参照）



3 スピードを"3"～"4"にする

切断状況に応じて、スピードを調整します。  （P.15「ブレードのスピード調整」参照）



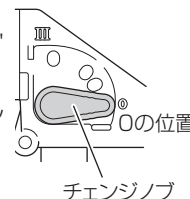
● ステンレス板の切断

1 ブレードの選定

- ステンレス板の切断には、別売部品のステンレス用ブレードを使用します。（P.11「別売部品」参照）
- P.17「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。

2 オービタルポジションを選択する

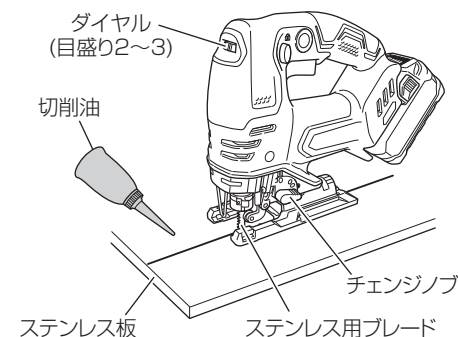
チェンジノブを"0"の位置に合わせます。（P.16「オービタル機構について」参照）



3 スピードを"2"～"3"にする

切断状況に応じて、スピードを調整します。  （P.15「ブレードのスピード調整」参照）

- 注** ブレードのスピードを上げると速く切れますが、ブレードの寿命が短くなります。



いろいろな切断

⚠ 警告

切断中は切粉が飛散するので、保護メガネを使用してください。

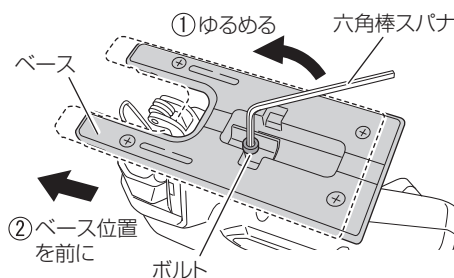
⚠ 注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。反動で機体が浮き上がる場合があります。けがの原因になります。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。機体の破損および、けがの原因になります。

● 傾斜切断

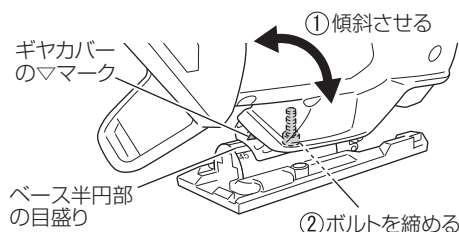
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動します。



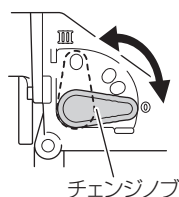
2 傾斜させる

- ギヤカバーの▽マークをベース半円部の目盛りに合わせて、ベース下部のボルトをしっかりと締付けます。
- ベース半円部の目盛りは左右 0°～45° まで 15° ごとに表示してあります。



3 オービタルポジションを選択する

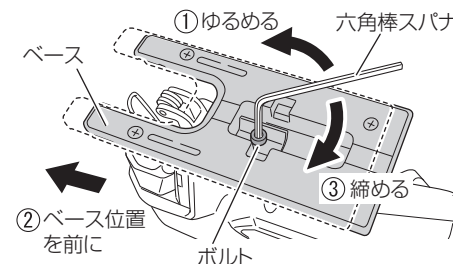
用途に応じて設定します。
(P.16「オービタル機構について」参照)



● 窓抜き切断

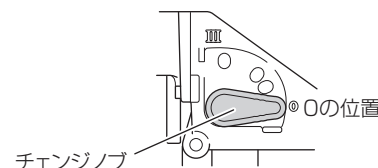
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動して、固定します。



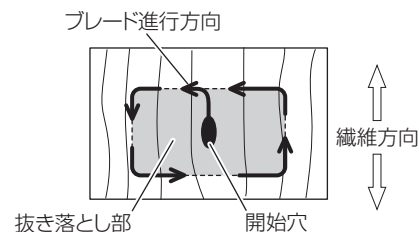
2 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを「0」の位置に合わせます。
(P.16「オービタル機構について」参照)



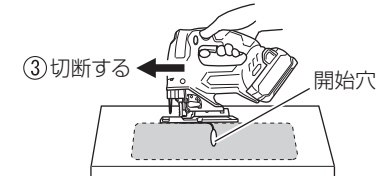
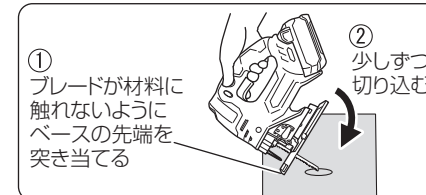
3 切り込む

- ベースの先端を材料に突き当てます。
- 木材の繊維方向にブレードを向け、少しずつ切り込んで開始穴を作り、木材の中部から窓抜きします。

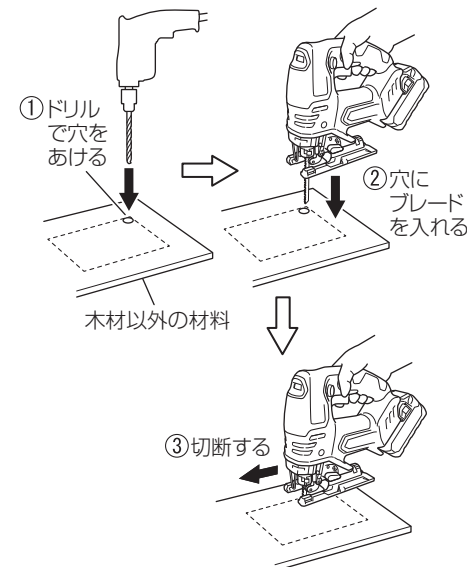


注 木材以外の材料は、あらかじめドリルなどでブレードの入るだけの穴をあけ、その穴にブレードを入れて窓抜きを開始してください。

木材の場合



木材以外の材料の場合

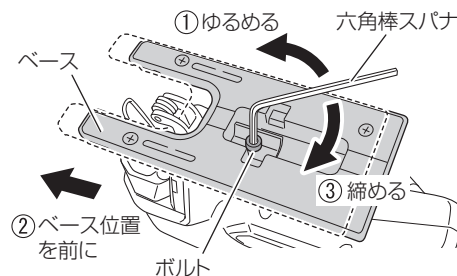


ガイド（別売部品）を使う

●ガイドの取付け方

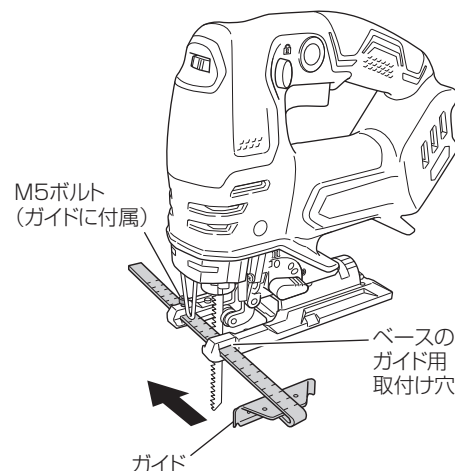
1 ベースを前にずらす

ガイドを取付けるときは、ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動してボルトを締付けます。



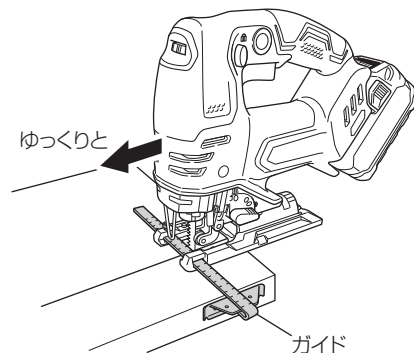
2 ガイドを取付ける

ガイドをベースの取付け穴に通し、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けて固定します。



●ガイドを使って直線に切る

材料の側面にガイドを突き当ててゆっくりと滑らせて切断します。



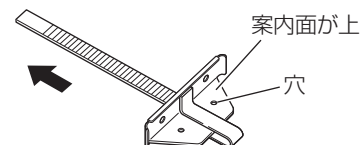
●ガイドを使って円、円弧に切る

ガイドを使って円や円弧に切ることができます。

このとき、別売部品のサブベースを取付けると、材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

1 ガイドを取付ける

ガイドの向きは、下図に示すように案内面を上にします。

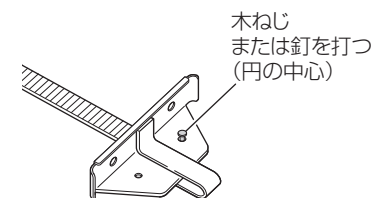


2 円の半径を決める

ガイドに設けてある穴とブレードまでの寸法を調節して円の半径を決め、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けてガイドを固定します。

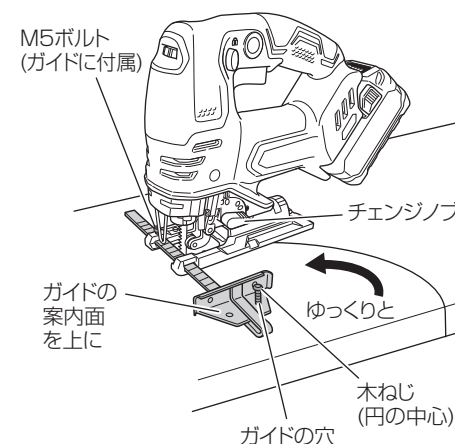
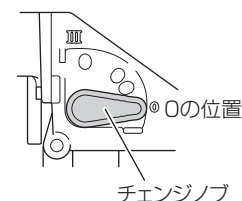
4 円の中心を決める

ガイドの穴に木ねじ（太さ 3mm）、または釘を打ちます。



3 オービタルポジションを選択する

きれいな円弧、曲線を切るには、チェンジノブを "O" の位置に合わせます。（P.16「オービタル機構について」参照）



注 小さい円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードが折れる原因になります。

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

● ブレードの点検

各ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品を取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状 況	原 因	対 策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池をさし込んでください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
	蓄電池または工具本体が過熱状態になった	作業時の押し付け力を弱めてください。 蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
先端工具が 取付かない 抜ける 抜けない	取付け部形状が合わない	適切なブレードを使用してください（「別売部品」参照）
	レバーが開いている	レバーを閉じてください。
	ブレードホルダ内に異物が入っている	異物を取り除いてください。
スイッチが引けない	スイッチロックが解除されていない	スイッチロックを解除してください。
スイッチを引くと 異音（ピー）がする	スイッチの引き量が小さい	故障ではありません。 引き量を大きくすると発生しません。
ブレードがすぐ消耗する	ストローク数が速い	ダイヤルを現在より低いモード目盛りに切り替えてください。 （ステンレス板切断時は、低速に切り替えてください。） （「ブレードのスピード調整」参照）
	金属切断時に切削油を使用していない	切削油を使用してください。
	作業時の押し付け力が強すぎる	作業時の押し付け力を弱めてください。
切断が上手にできない	加工物の材質や厚さに適したブレードを使用していない	適切なブレードを使用してください。（「別売部品」参照）
	加工物の材質や厚さに適したスピード調整、オービタルポジションになっていない	適切なスピード調整、オービタルポジションに設定してください。 （「ブレードのスピード調整」参照） （「オービタル機構について」参照）
	ブレードの摩耗・劣化・破損	新しいブレードに交換してください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。